

最強の投資手法「スパンモデル」「スーパーボリンジャー」によるシンプルトレード

ドル円、ユーロドル、ユーロ円、豪ドル円、ポンド円に関して、今後 1 週間程度の相場予測として、「日足スーパーボリンジャー」と「週足スーパーボリンジャー」に限定した、簡単な分析・解説を掲載します。

日足や週足のスーパーボリンジャーは、主に、デイトレード・スイングトレードの大局観の把握や、ポジショントレードの売買判断に用います。分析は、全て、先週末 5 月 19 日終値時点での判断です。内容は、私の有料情報サービスからの一部抜粋です。(尚、本レポートでは、スパンモデルに関するレポートは省略している点、ご了承ください)

さらなる詳細分析やその他の通貨ペアの分析・解説(リアルタイム動画解説を含む)は、こちらをお勧めします。「マーフィーの有料メルマガ&掲示板」 <http://www.eagle-fly.com/mur/>

■ドル円

1) 日足スーパーボリンジャー

<<大局観>>

調整のドル反落局面、レンジ相場

<<分析>>

遅行スパンは陽転継続しており、引き続き、基調として、ドル買い優勢を示しています。一方、日足終値が+1のラインの下方を推移するかぎり、調整のドル反落局面と判断します。また、バンド幅の縮小傾向も見られ、トレンド性が弱まっており、調整局面ないしはレンジ相場の地合いにあると読めます。

2) 週足スーパーボリンジャー

<大局観>

レンジ相場

<分析>

遅行スパンは陰転しつつもローソク足に絡んで推移しており、レンジ相場を示しています。目先、センターラインと-2ラインの間でのレンジ相場と判断します。尚、遅行スパンが、ローソク足が高値を付けたタイミングを通過してきている点、注目です。すなわち、今後、ローソク足の下落傾向の動きに呼応して、遅行スパンが続落する展開を引き続き念頭においておきたい場面です。

■ユーロドル

1) 日足スーパーボリンジャー

<大局観>

ユーロ本格上昇トレンド

<分析>

遅行スパンは陽転継続しており、ユーロ買い優勢を示しています。日足終値が+1ラインの上方を推移するかぎり、ユーロ本格上昇トレンドと判断します。一方、日足終値が同ラインの下方で引けると、調整のユーロ反落局面入りする可能性が高まります。

2) 週足スーパーボリンジャー

<大局観>

ユーロ本格上昇トレンド継続中

<分析>

遅行スパンは、陽転継続しており、基調として、ユーロ買い優勢を示しています。週足終値が+1σラインの上方を推移し続け、バンド幅の拡大傾向が続くかぎり、引き続き、ユーロ本格上昇トレンドと判断します。

■ユーロ円

1) 日足スーパーボリンジャー

<大局観>

調整のユーロ反落局面、ユーロ緩やかな上昇トレンド、ブル・ベアの分岐点

<分析>

遅行スパンは陽転継続しており、基調として、ユーロ買い優勢を示しています。一方、5月17日時点で、日足終値が+1ラインの下方で引けており、調整のユーロ反落局面入りしていることが確認できます。今後、日足終値が+2ラインの上方で引けないかぎり、戻り場面では売り推奨となります。

2) 週足スーパーボリンジャー

<大局観>

レンジ相場継続中

<分析>

遅行スパンはローソク足に絡んで推移しており、レンジ相場を示唆しています。目先、+2ラインと+1ラインの間でのレンジ相場と判断します。遅行スパンが陽転しつつもローソク足に絡んで推移している点、引き続き注視したい場面です。

■豪ドル円

1) 日足スーパーボリンジャー

<大局観>

レンジ相場

<分析>

遅行スパンは陽転しつつもローソク足に絡み、レンジ相場を示唆しています。目先、+2のラインを上値目途、-2のラインを下値目途とするレンジ相場と判断します。

2) 週足スーパーボリンジャー

<大局観>

レンジ相場、ブル・ベアの分岐点

<分析>

遅行スパンは、陰転しつつもローソク足に絡んで推移しており、レンジ相場を示しています。遅行スパンが陰転し、週足終値が-1のラインの下方で推移し続け、バンド幅の拡大傾向が鮮明化すると、豪ドル本格下落トレンド入りする可能性が高まりますが、目先は、豪ドル底固く推移し、センターラインと-2のラインの間でのレンジ相場の地合いにあると判断します。

■ポンド円

1) 日足スーパーボリンジャー

<大局観>

調整のポンド反落局面継続中

<分析>

遅行スパンは、陽転継続しており、引き続き、基調として、ポンド買い優勢を示しています。日足終値が+1ラインの下方で引けるかぎり、調整のポンド反落局面と判断します。

2) 週足スーパーボリンジャー

<大局観>

レンジ相場継続中

<分析>

遅行スパンは、ローソク足に絡んで推移しており、引き続き、レンジ相場を示唆しています。目先、+2ラインとセンターラインの間でのレンジ相場と判断します。尚、遅行スパンが、ローソク足が高値を付けたタイミングを通過してきている点、注目です。すなわち、ポンド売り要因となります。

■「マーフィー無料FX講座」のお知らせ

<http://www.span-model.com/ji/>

短期間でエッセンスを学べる無料コースとなっておりますので、ぜひお試しください。

■「無料メルマガ」のお知らせ

<http://www.span-model.com/mailmaga.html>

相場と友達になる手法を無料レポートで公開中です。

以上です。